

# 中部 NOW

〈発行〉

(公財)オイスカ中部日本研修センター 〒470-0328 豊田市勤八町勤八 27-56

TEL 0565-42-1101 FAX 0565-42-1103 E-mail:chubutc@oisca.org HP: <http://oisca.org/>

## 新研修生が入所しました

2026年度の新規研修生が無事入国し、オイスカ中部センターにて研修を開始いたしました。農業一般コースに、バングラデシュ・インド・スリランカ・マレーシア、家政コースにメキシコから計5名を迎え、さらに2年目の先輩研修生5名を加えた、計10名が在籍しております。

それぞれの研修生が母国の発展に寄与するという志を胸に、日本での学びに真摯に取り組む姿勢は、センターに新たな活力をもたらしています。



今後も、農業技術および生活技術の習得を通じて、国際社会に貢献できる人材として成長していくよう、職員一同、全力で支援してまいります。皆様におかれましては、引き続き温かいご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

筑田明生



サミタ  
(スリランカ)



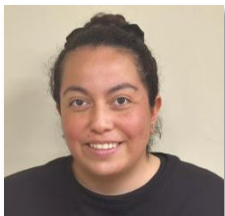
ラキブ  
(バングラデシュ)



プニタ  
(インド)



ヨエル  
(マレーシア)



ファニ  
(メキシコ)



## コラム

春の訪れを感じる季節となりました。日頃よりオイスカの活動に温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。3月は新たな節目を迎える時期でもあります。皆様と共に、より充実した活動を育んでいけるよう努めてまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

このたび、2026年1月9日から17日にかけてインドネシアを訪問いたしました。訪問の目的は、訪日研修生OB・OGの皆さんが現在どのような活動をしているかの調査と激励、スカブミ研修センターおよびカラマンガニアル研修センターの視察、さらに植林プロジェクトの現場確認など、多岐にわたるものでした。

どの現場も財政的に厳しく、人材も限られた状況の中で、スタッフが懸命に活動を続けている姿が印象的でした。私たち自身も、より関心を寄せ、協力できることはないかと強く考えさせられました。現地で中心となって活動を支えているのは40代から60代のOB・OGの方々であり、海外の現場でも若い世代のスタッフ確保が難しい状況にあることが分かりました。また、ベテランスタッフからは「オイスカの研修はアップデートが必要だ」との声も寄せられました。

今回の訪問には、国内センターの副所長3名と本部職員2名が同行し、今後のオイスカの在り方について大いに考える機会となりました。2月上旬からは、各センターに新研修生が入国しています。持続可能で平和な世界を築く人材へと成長してもらえよう、引き続き力を尽くしてまいります。

筑田明生

## フオレスターズスクール

1月31日(土)、中部電力と共催して、第14回フオレスターズスクールが開催されました。長野県・奈良県・静岡県など遠方からの参加者を含め、22名が参加しました。

森林の働き・土砂崩れなどの災害事例・人工林拡大の歴史・間伐の必要性・企業やNPO法人との連携などの紹介や、間伐体験、木の記念植樹を行いました。

また、ネイチャーゲームによる自然と人間が一体となる交流により、自然への親近感を感じるゲームも体験しました。

オイスカ豊田推協幹事 大嶋雅樹



## 則定小学校との交流

2月4日、豊田市立則定小学校の学芸会を研修生が参観しました。豊田推協梅村清春会長が鈴木木正三顕彰会会長でもあり、同校が毎年鈴木木正三を学芸会で演じていることから、梅村会長を通じてご招待いただきました。5・6年生が演じる鈴木木正三の活躍を鑑賞し、その後教室で交流会・給食をいただきました。交流会も研修生への質問がたくさん飛んで盛り上がりました。豊田市の偉人を知る貴重な機会となりました。

小杉裕一郎



## トヨタファームから寄贈していただきました！

トヨタファームの鋤柄雄一社長より、中古の軽ワゴン車を寄贈いただきました。今回で通算5台目(軽トラック3台、軽ワゴン2台)のご寄付となります。いただいた車両は、いずれも農業研修に活用しており、日々の運営を支える大きな力となっています。今回の軽ワゴン車も、研修生が畑へ通う際の移動手段として大切に使用させていただきます。鋤柄社長をはじめ、トヨタファームの皆さまの温かいご支援に心より感謝申し上げます。

筑田明生



## フランチスさん 研修修了

農業指導員コースで2年間、中部センターで学んだパプアニューギニアのフランチスさんが帰国しました。裏表がなく、いつも穏やかな性格で、職員や研修生からの信頼も厚い、素晴らしいリーダーでした。彼の故郷では民族間の争いが続き、治安が悪いため、しばらく帰郷できない状況にあるそうです。それでも、どこにいても持ち前の粘り強さで前に進んでくれると信じています。

筑田明生



愛知県議員団 オイスカの会  
パプアニューギニア視察訪問



令和8年1月25日から31日まで、神野博史県議会議員と中根義高県議会議員を柱として、オイスカ研修センターとパプアニューギニアの視察を行いました。参加者は6人。まず、東ニューブリテン州知事と懇談して、親日家であり、オイスカにも協力を頂いていることを伺いました。

その後、研修センターを視察して、オイスカOB研修生から活動の説明を受けました。それから、第二次大戦の激戦地で、戦跡のある博物館などを巡りました。帰国前に、日本大使館にも寄り、望月寿信大使との意見交換を行いました。

森田惣一

1・2月 研修生の活動 レニ



初めて雪を見ました！みんな大喜び！



今年のトマトを播種



堆肥を作るための落ち葉集め

## 愛知県支部幹事会を開催



2月14日(土)、センターを会場に愛知県支部幹事会が開催されました。役員19名が参加されました。主な議題は、次年度オイスカデーの開催です。会議冒頭、光岡会長より令和8年度方針が示され、日本一のオイスカデーを開催するべく抜本的に改革したい旨の意向が示されました。開催についてのコンセプト・目的、準備から運営方法まで支部役員の衆知を集めたうえで、4月の幹事会(総会)で意見集約を図ることとなりました。

そのほか、6月に会員増強月間として取り組むことや豊橋推進協議会設立に向けた準備を進めていくことが了承されました。

支部事務局長 河合秀

## 冬募金のお礼と報告

12月1日～1月31日まで恒例の冬募金運動がオイスカ全体で実施されました。

フィリピン台風被害やスリランカ洪水被害などで現地研修センターに甚大な被害があり、多くの会員様から御心配をいただき、オイスカ全体で1,000万円を超える募金が寄せられました。中部日本研修センターでは、農業研



修に必要な軽ワゴン車を購入するため募金を呼び掛けたところ、87件、1,442,445円の募金協力をいただきました。寄付件数は全国1位、寄付金額は全国2位でした。今回も多くのお客様にご支援ご協力をいただきましたこと、心より感謝御礼申し上げます。ありがとうございました!

小杉裕一郎

## 更新会員名簿(666/779)

安城(74/90)株式会社 杉浦時計店、蟹江隆司、川澄敏雄、神谷清隆、スギホールディングス株式会社  
岡崎(24/26)中根義高、株式会社林成宜商店、カーサービス南部電装有限公司、小林ひろみ、明保澄雄  
尾張一宮(2/3)HARSONO  
刈谷(32/35)刈谷市役所、吉川久喜子、外山鉦一、株式会社 依佐美、株式会社 だるま  
豊田(167/203)大河内鋭造、平松正樹、野中慎吾、鈴木英之、須賀育代、佐藤銀弘、永田岳志  
名古屋(49/56)ウーマンスタッフ株式会社、筒井タカヤ、名港海運株式会社、株式会社 朋優  
名古屋北(27/33)神谷幸輔  
名古屋西(9/13)中川あつし、熊丸美智江  
名古屋南(15/13)井上知足、SORGHUM EARTH CREATE、中野公雄、小柳津初男  
西尾(23/26)丸洋建設 株式会社、やまと旅館、西尾市校長会  
丹羽(60/66)株式会社 酒井建築、協栄産業 株式会社、生興、株式会社 碧南高浜(36/45)小林晃三、旭鉄工株式会社  
センター(34/47)サントリーブパレツジソリューション 株式会社、スズケングループ労働組合連合会、松本尚人  
(一月末まで掲載)

## 寄付品

福田香緒里(豊田市)  
小池牧場(豊田市)  
株式会社 山信商店(豊田市)  
内藤欣憲(豊橋市)  
サントリーブパレツジサービス 株式会社(名古屋)  
中山純二(豊田市)  
鈴木英之(豊田市)  
大嶋雅樹(豊田市)  
神野重行(名古屋)  
ギン(豊田市)  
三井酢店(阿久比町)  
トヨタファーム(豊田市)  
アラハコ(スリランカ)  
遊都 株式会社(豊田市)  
加藤みつ子(豊田市)  
トヨタファーム(豊田市)  
福岡武宏(豊田市)  
清水孝紀(豊田市)

## ベルマーク

株式会社 山信商店(豊田市)  
原田写真館(豊田市)

## 書き損じはがき

黒田啓介(名古屋)

## インクカートリッジ

原田写真館(豊田市)